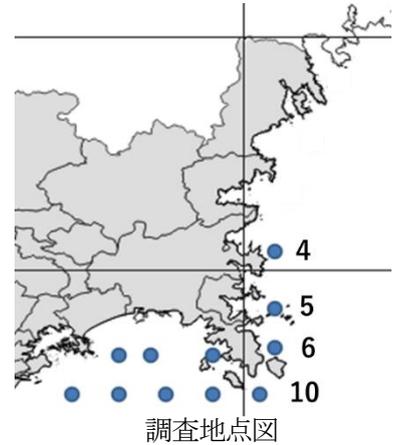


# 令和7年度 牡鹿半島周辺・以北\_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.4)

令和7年7月2日  
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和7年7月2日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
  - 1) 水温: 表層で16.8~18.6℃の範囲にありました。
  - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
    - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) は確認されませんでした。
    - ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* が0~120 細胞/L、*D. acuminata* は10~30 細胞/L 確認されました。



## 調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				6月30日	6月11日	6月30日	6月11日	6月30日	6月11日	6月30日	備考
4	6月30日 10:51 83.4 m	11.0	18.6	0	0	120	100	30	30	0	
5	6月30日 10:12 34.5 m	14.0	17.6	0	0	0	130	10	20	0	
6	6月30日 9:36 66.8 m	17.0	17.4	0	10	0	50	10	0	0	
10	6月30日 8:53 84.7 m	15.0	16.8	0	10	30	260	20	100	30	<i>D.rotundata</i> 30

※貝毒プランクトンサンプルは0~20m層における柱状採水